



岩国の魅力溢れるおもてなし

市政 PICK-UP

10月11日、イギリスの大型クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」が岩国港に初寄港しました。

全長290メートルの船に乗船した約3700人の乗客乗員を、岩国藩鉄砲隊や観光ガイドボランティアなどたくさんの方が歓迎しました。

乗客乗員は、特設された篆刻体験、シロヘビの生体展示、特産品販売などのおもてなしブースを巡るとともに、錦帯橋や宮島などの岩国周辺の観光名所も

「ダイヤモンド・プリンセス」初寄港

楽しみました。

夕方の神楽演舞や花火打ち上げ時には多くの市民も加わりました。市民らが光輝く「プリンセス」の出航を見送る中、船からは何度も「汽笛」が吹鳴され、お互いに再会を祈りました。

岩国港は、10万トン級の大型客船寄港環境の整備も行われたことから、今後も県や関係機関と連携し、さらなる客船誘致による観光振興に取り組んでいきます。

☎観光振興課 ☎295116



買い物を楽しんで国際交流

9月29日、愛宕スポーツコンプレックス内のロータスカルチャーセンターで、岩国フレンドシップフリーマーケットが開催されました。このイベントは実行委員会と市、米海兵隊岩国航空基地が共催し、初めて開催されたものです。

台風の接近による悪天候のため、飲食物の販売を除き屋内での開催となりましたが、3500人の来場者が訪れ、会場は熱気に包まれました。



▲アメリカ人の出店者や来場者も多数訪れ、日本人、アメリカ人ともに売買を通じて会話を楽しんでいた

岩国フレンドシップフリーマーケット

日米それぞれの出店者が古着やハンドメイドのアクセサリ、雑貨、おもちゃなどを販売し、来場者が「オイクラデスカ?」「ディスプレイアウトプリーズ」など片言のやり取りで買い物を楽しむ様子も多く見られました。買い物を楽しみながら国際交流を楽しむことができると好評だった岩国フレンドシップフリーマーケットは、今後も定期的開催される予定です。

〒740-0211 岩国市交流室 ☎25211



▲思いがけない折り紙の鶴のプレゼントに喜ぶアメリカ人の親子連れ

10月7日、山口きらら博記念公園で開催中の山口ゆめ花博の会場に、「岩国市の日」として岩国市の魅力を発信する場が設けられました。

7万7千人もの来場者でにぎわったこの日、ステージで福田良彦市長や、ゆるキャラのはあすちゃん、ソラッピーなどが市の魅力をPRしました。

その後、北中山子ども神楽、山代白羽神楽、行波の神舞がそれぞれ勇壮な神楽舞を披露し、会場を大いに盛り上げました。

山口ゆめ花博「岩国市の日」

また岩国のシロヘビをモチーフにした清流光神ハクジャオーが登場すると、ちびっこたちから大きな声援が送られました。

その他、岩国の魅力が詰まった特産品の販売や特設プールでの鶴飼ショーも行われ、会場を訪れた多くの人に岩国市のいろいろな魅力を発信しました。

明治150年を機に「山口から開花する、未来への種まき。」をテーマに開催された山口ゆめ花博は、11月4日に閉幕します。

〒740-0211 岩国市交流室 ☎25162

岩国市の魅力をPR



▲岩国の特産品販売コーナーには多くの人が訪れ、屋前には売り切れる品物も続出した



▲腰みのをつけた鶴匠が実際に鶴を操ってみせ、錦帯橋のう飼をしっかりとPRした